MAIL NEWS

JR East Transport Service Workers Union
ＪＲ東日本輸送サービス労働組合

HOMEPAGE　TWITTER

2022,04,25　NO. 358

申36号

JTSU-E 2022 春

（株）ＪＲ東日本運輸サービス（JETS）

2022 年度賃金をはじめとした総合労働条件の向上を求める申し入れ

4月22日　団体交渉を行う！

会　社　回　答

【正社員の給与改定】

ベアゼロ

基本給４号俸、職能給４号俸の昇給

昇給の精算は、2022 年 6 月 20 日以降準備出来次第

【契約・パートタイマー等の社員の基本賃金の改定】

契約者社員の賃金(日額)　80 円増

パートタイマー等の社員の賃金(時給)　10 円増

シニア社員の一部に対して、特別昇給

特別契約社員に対して、特別昇給

実施日　2022 年 5 月分支給分(4 月実績)から実施

4 月 22 日交渉にて会社回答が示されるが、要求との隔たりがあったことから、**席上妥結とせず、持ち帰り中央執行委員会にて議論しました。**

今交渉において、年功賃金の維持を確認するとともに、安全に対する設備投資を行い、働きやすい職場環境の向上に努めていく労使の認識一致を図ってきたこと。また、更に労働条件の向上に向けた輸送サービス労組運動を強化していくことをもって**妥結**しました。

私たちの主張

- ベースアップは物価上昇分を考慮した生活維持向上分であり誰にも等しくあるべきもの。定期昇給は１年間の労働によって向上した能力に対する評価の対価である。
- ２０２１年度の決算状況を示すこと。
- 構内運転士の免許を取得してから転職をする社員がいる実態がある。人材の確保と定着を目指すために、賃金を含め労働環境をしっかり整備し、魅力ある会社づくりを行うべきだ。
- **作業の見直しがされているが、サービスの低下が懸念される。**コスト削減の中でどのようにサービスレベルを維持・向上していくのか。
- コスト削減において、社員の命を守る観点から**安全に関するものにはコスト削減を行わないこと。**
- 夏場での作業において、引き続き給水や塩飴などの社員の体調管理を行うこと。

会社の主張

- 収益のほとんどは JR 東日本からの受託費となる。経費としては人件費が９割を占める。
- 2021 年度第３四半期の状況であるが、**売上高は対前年 94.7%。営業利益は対前年比 70.5%である。最終的な営業利益予想は 2 億円の黒字を見込んでいる。**しかし、**今年度は受託業務の見直し等によって収益の減少が予想されることからも赤字になることも想定しており、厳しい経営状況である。**
- 昔は免許を取ってから離職する社員がいたが、今では減少している。
- 誰でも清掃作業ができるために重量のある「ポリッシャー」から、軽くて使いやすい「アイモップ」を導入した。いかに清掃で人をかけずに行うか、試行錯誤しながら１日の実作業時間の効率化を目指す。
- **安全第一は変わらない。足場の強化なども含めて安全投資をやっていく。働きやすい職場は、賃金の関係もさることながら、働いている環境の改善も社員・家族の幸せにつながる。**
- スポーツドリンクや空調ファン付きベストを購入し、熱中症対策を引き続き行なっていく。

組合員の負託に応えるために声を上げ続けます！